

**【栄区】令和4年第3回区づくり推進横浜市議員会議  
議事録**

開催日時	令和4年8月31日（水） 午前10時30分～午前11時30分
場 所	栄区役所新館4階8・9号会議室
出席者	<p>【座長】長谷川えつこ議員</p> <p>【議員：2名】大桑正貴議員、奥石且子議員</p> <p>【栄区：30名】富士田学区長、今仁知宏副区長、 横森福祉保健センター長、 井上弘毅福祉保健センター担当部長 櫻井暁人土木事務所長 ほか関係職員</p>
議 題	<p>(1) 令和3年度個性ある区づくり推進費決算について</p> <p>(2) 令和4年度個性ある区づくり推進費執行状況について</p> <p>(3) 令和5年度栄区予算編成の考え方について</p> <p>(4) 会議報告書作成について</p>
発言の 要 旨	<p style="text-align: center;">（説明省略）</p> <p>大桑議員：決算調書について、750万円程残があるが、毎年これぐらいなのか、現年度見直しの活用にあるようにやりくりしたので多かったのか、教えてほしい。執行率を見ると、40%や50%が多いので、環境整備に活用するなどそういう工夫がされているように見えた。</p> <p>一方で、Wi-Fiなどの整備をしていると思うので、区民の方から何か感想なりがあれば教えてほしい。隣のラウンジタッチ等で使っている方もいるのかと思うが、もし何かそういうことがあれば教えてほしい。</p> <p>伏見総務課長：まず、1点目の差引の関係だが、自主企画事業がほぼ100%というのは例年どおり変わらない。差引額の750万円については区庁舎管理費の水光熱費など、いろいろな増減の中で差額が出ている。</p> <p>また、事業見直しだが、中止となった事業が多い。特に昨年度は、説明資料用に見直した事業を示してこういうことに使いましたと、説明するよう市民局から依頼があった。今年度は特に通知はなかったが、同様の形で説明するのはかまわないということだ</p>

ったので、取りやめた事業と活用した事業について説明している。

コロナの関係で中止になったイベントがあるので、新型コロナウイルス対策関係を中心に予算を活用した。特に意識したのが本館1階だ。エントランスが混雑していたので、大幅なレイアウト変更を実施しており、比較的好評を得ている。また、ウェブ環境については、2つあり、ここも入っているが、いわゆるフリーWi-Fiを1階エントランス等に導入しているが、稼働率があまり高くないようなので、もう少し周知が必要だと考えている。新館2階で実施している乳幼児健康診断などで使う方がいるかと思うのだが、使い勝手を見て設置場所については検討したい。

あともう一点、職員が利用するウェブ会議用ブースを整備した。また、参考として、今年度、デジタル統括本部が主体となって、新庁舎と同じように18区においてWi-Fiが整備される。それは、YCAN用になるので、職員がパソコンを移動して使う形にできる。

大桑議員：Wi-Fiについては、存在を知らないということもあるかと思うし、高齢者の方がどれだけ活用するか、マイナンバーも含めて鍵になってくると思うので、ぜひ検討してほしい。また、里帰り桜について、本郷台駅を通るときに見ていて、基本的に順調かと思うがどうか。

富士田区長：順調に育っている。今後、台風等々もあるので、しっかりと管理・育成していきたい。

興石議員：令和3年度の決算について例えば区制30周年を目指していた頃の目玉事業とか、活気ある、個性を出すための事業ということでセーフコミュニティに手を上げたりとか、どうしたら大胆な個性を打ち出せるかというような時代を経て、今コロナ禍になり、個性を打ち出すのが本当に難しいと感じながら決算を拝見した。例えば、ヤングフェスティバルも長くやってきた事業だが中止になってしまって、セーフコミュニティも令和5年の更新はやめようかという方向になっている中で、できる努力を重ねてくださっているのは非常にありがたいと思って拝見している。

一方で、工業地帯のある町とか、動物園があるとか、大学があるとか、そういう区の個性の打ち出し方はそういった特徴的なと

ころにスポットを当てればいいかもしれないが、栄区の場合は残念ながらそういう分かりやすさがあまりない。だからこそ区民が認識している我が区の個性というのは統一のものを持ってきていると思う。そういうことの反映は、緑とかタッチーくんとかがしてくれているとは思いつつ、目玉が残念ながらあまり感じられなくなっている中で、この後、令和4年の執行状況と令和5年に向けた打ち出しに向かって、この令和3年を反省の意味も込めて眺めてみる必要があるだろうと思う。目玉ができていない中、どう思われているかお聞きしたい。

富士田区長：この予算を組んだ当初は、まさにコロナの中であった。今まで綿々と続けてきた事業を、リニューアルするとか一気にやめてしまって新しいものをやることが本来は求められているのかもしれないが、それは1年目では非常に難しかったというのが反省でもあり、やむを得ないとも思っている。

3年度の事業は全体で90以上あり、これでは個性は出ない。これから令和4年度の執行状況を見ていただくが、細かい事業については若干変えてきた。予算の中で考えると、今の説明のとおり非常に固定化されたものが多く、リニューアルできなかったというのが私の反省ではある。

令和5年に向けては、個性ある区づくり推進に求められていることでもあるので、去年、セーフコミュニティの再認証を取らないという決断をしたということで、次はどうやっていくのかということをしっかり打ち出していきたい。ただ、セーフコミュニティは認証期間満了まで活動していく。しっかりと見直しをしながらリニューアルして、栄区の個性を出していきたい。

興石議員：大胆なものの打ち出しづらさはあるが、そういうのをやっていただきたいというのが私の正直な気持ちだ。一方で、一個一個をそこまでやるかというくらい丁寧にやってもいいのかなと思う。例えば、水害対策事業が重点事業になっていて、スピーカーなどかなり強化している。河川がブランドでもある栄区なので、憩いの場であるとともに安全対策が必要だと思う。水害で水が増えてきたときの危険水域は、いざそうなるとみんな見るが、日頃の水位の線と、災害時にこのぐらいまでいっているという、一目瞭然の赤線みたいなのがあったらいいという住民の方の声を時々頂

くが、そういうのはあるか。

伏見総務課長：水害については昨年度、浸水対策区域のマップを配布している。これは他区に先駆けて区の予算を使って1年早めて配っている。急激に雨が降って水かさが増す話と、例えば堤防が決壊して出る危険性の話とは分けて考える必要がある。栄区でいうと、河川の関係では柏尾川近辺が浸水区域になるので注意が必要だということで、区の予算を使って防災スピーカーを重点的に設置して対応している。

興石議員：そういう区が独自にやってくれることはとても区民にとって喜ばしいことだし、個性ある区づくり推進費の使い道としていいことだ。区民の愛着の醸成にもなって、栄区を選んで住もうということになる。降雨量が増えた際の水位がわかる線について、ふだんの水位がここで、危険水位がここでというのが、現地で赤線とか黄色線とかが引いてあると分かりやすい。紙面とか映像とかとの連動性など区役所ならではのことをぜひやっていただきたい。

伏見総務課長：水位については現地で表示されている場所もある。ホームページでもそういう情報を出しているので、必要に応じて、住民の方とちゃんと意見交換をしながら周知していきたい。

長谷川座長：栄区の個性というのは、やはり高齢者の方が多いという点だと考えている。そんな中で、決算だが、福祉保健・健康づくり推進事業で、内容としては、区民まつりがなくなってしまったので、そのイベントの中止により、決算の執行率が59.8%ということだった。こういった啓発とか、例えば「健康長寿 さ・か・え」推進事業や特定健診受診率向上も、リーフレット、パンフレットがなかなか配布できなかったということだが、イベントがなくなってもやはりこういった啓発は引き続き行ってほしいので、何らかの形で実施して執行率を高めていってほしい。

それでは続いて、令和4年度の執行状況についての質疑をお願いしたい。

大桑議員：高齢者のICT利活用事業について、1コース5日間、8月から10月でちょうど今頃かと思うが、開催場所と、講師の方は外部の方なのかとか、教えてほしい。

また、さかえの野菜めしあがれ！のランチョンマットを1,000枚6年生にということだが、区内の全部の小学生に配布している

のかということと、これは学校に行っているのか、ただ配っているのか、教えてほしい。

松原高齢・障害支援課長：ボランティア養成講座 LifeAcademy@sakae を、栄区の社会福祉協議会や、7つの地域ケアプラザと一緒に講座をやっている。8月25日に初回を迎え、その際は元社協職員で愛知東邦大学教授の方を招き、町の魅力新発見、エンジョイ栄ライフと題した講座を終えている。募集に当たっては、広報よこはま栄区版に載せたり、町内会等で配布させていただいたり、様々なお声がけなどをしながら、初回は20名定員のところ30名の応募があり、欠席などもあったが17名に参加いただき、好評をいただいている。

齋藤福祉保健課長：食育関係のランチョンマットに関して、小学校6年生全員に差し上げるということで、給食の時間などで使いながら、食育について考える機会として行っているもので、学校を通じてお配りしている。

大桑議員：食育のほうはもう使っているという認識でよろしいか。

齋藤福祉保健課長：今年度のものについては、今作成中で、11月頃までに配る予定だ。

大桑議員：高齢者のICT利活用事業は、パソコンとかを使ってということだと思う。数年前のコロナの予約状況を見ると、まだまだ電話でという高齢者の方が多いのかなと思うので、みんなが携帯でできるようになれば、当然コールセンターの人も必要がなくなるし、そういう経費も削減でき、いろいろ効率化できると思う。マイナンバーもあるので、難しいと思うが、ぜひとも工夫してやっていただきたい。

本郷台駅周辺のまちづくり推進について、基本的に令和2年、令和3年で市営住宅のボリュームなどを調査して、どれぐらいのものが必要かということを受けて、今年度は、都市整備局や財政局とやっていくという話で、これから本格的に計画をつくっていくということだと思う。区が主体となって500万円使ってやっているということだが、進捗状況等を教えてほしい。

富士田区長：3つの関連局と連携して、区局でしっかりと成果を出し絵を描いていきたい。ただ、公共施設ですから、今後、施設自身の見直し等々の議論もある中で、それを踏まえて取り組んでいきたい。

い。

興石議員：本郷台駅周辺のまちづくり推進は、このタイトルでの議論は、当然のように栄区の駅として10年、20年とやってきているが、残念ながら議論の場のつくり方について、私も一言申し上げさせていただいた事実がある。実際には区に寄り添うような形で議論が進んでいたようには思えない現実があったので、財政局と都市整備局と市民局と、しっかりやっていただきたいなと思っている。いろいろご説明いただいた後、議論の場を何回か持ったりとか、その後の状況について伺いたい。

富士田区長：今段階を踏んでいるところではあるが、例えば区民の方のご意見を聴くとか、どのように進めていくのか、その土台になるような部分を検討している。市営住宅等々のスケジュールがあるので、期限が見えている中で、今やるべきことをしっかりやらなければいけないと思っている。区民の方を入れての議論はまだできる段階ではないと考えている。

興石議員：これまでの在り方検討も踏まえていくと、区民の方に分かりやすく伝えていく段階はなかなか難しいかなと思うが、分割して議論を進めてしまうと、本来ある町の機能は不完全なまま、それぞれの建物は良好なものもできたにもかかわらず不自由な町になりかねないので区役所が議論だけでも進めるべきだと思う。もう少し私たちともざっくばらんに話をするような場をつくって、会議をするなど。私は栄区らしい小さな区ならではの温かい話合いの場が必要だと思うので、ぜひ本郷台駅周辺に関しては、もう少し区づくり推進横浜市議員会議や栄区議員団会議よりもほかの席でぜひやっていただきたい。

富士田区長：どういう形にするかは別として、しっかりと情報をお出しし、むしろ逆に頂きつつ、進めていきたい。

興石議員：郊外住宅地の住環境保全と持続可能なまちづくり推進に関連して、いよいよ用途地域の見直しで、令和3年に案として横浜市も出して数か月たった。第1種低層住居専用地域を取る対象地域として、栄区の住宅地には適切だろうと思われる場所が結構点在しているが、区民の要望をどうやって吸い上げていくのか。全部やるわけにいかないのか、どうやって選考していくのか、令和4年になって何か進捗があれば教えていただきたい。

富士田区長：今現時点で何か、例えば地域の方と話しているということはないが、しっかりと検討を進めている。しかるべきときにどのような形で皆さんにお聞きしていくのか、手を挙げるのか。今出ている適地について、そこが本当にいいのか等々、考えていきたい。進捗はつかんでいる状況だ。

興石議員：民間の宅建関係と不動産業者さんとの連携は不可欠になるので、いわゆる官民連携をしながら進めていただく必要がある。飲食店とか食物に関わる仕事を転居して栄区内でやりたいという方から、飲食業にはこのテナントは貸せませんというところばかりで、区内から区内への移転だが結局見つからないで区外に出ざるを得ないということを伺っている。小さな商店が閉店せざるを得ないような現実を聞くが、その辺で分かっていることが何かあるか。

近堂地域振興課長：そういった情報については、今把握できていない。アンテナを伸ばしながら商業の発展につなげていければと思う。

長谷川座長：今回、市内で初めて、栄区の飯島団地でセーフティネット住宅の募集がかかっていると伺っている。今後セーフティネット住宅を栄区の中でもうちょっと増やしていきたいなと思っているので、それについて今予算が入っているのかどうか、確認させていただければ。

富士田区長：具体的に区が今関わっているところはないのが現状なので、しっかり情報を取りたい。

会議報告書の作成については座長一任。了承

備 考